



「鞆の浦と神勝寺（禅と庭のミュージアム）をめぐる旅」

潮待ち港として江戸時代より栄えた古い町並みが色濃く残る港町鞆の浦、2016年に禅の世界をアートと建築と共に味わえる新スポットとしてオープンした神勝寺（禅と庭のミュージアム）を巡ります！

日 時：平成30年12月23日（日）

午前8時30分 **高松市役所前**集合（集合場所は資料館ではありません。ご注意ください。）

午後6時45分頃 高松市役所前解散（予定）

★JR高松駅での集合・解散も可能です。（JR高松駅集合：午前8時00分、JR高松駅解散：午後7時00分頃）

主な見学先

●鞆の浦（対潮楼、太田家住宅他、古い町並み散策）

福禅寺の本堂に隣接する対潮楼は1690年に創設された客殿で朝鮮通信使の迎賓館として利用され、国の史跡にも指定されています。太田家住宅は、江戸時代より鞆の浦で作られてきた薬用酒「保命酒」の蔵元であり、主屋や醸造蔵など9棟からなる瀬戸内海の商家建築を代表するもので、1991年に国の重要文化財の指定を受けました。

●神勝寺（禅と庭のミュージアム）

広さは7万坪。全長46mの舟形パビリオン、アーティスト名和晃平氏の作品《洗庭》や建築史学・建築家藤森照信氏設計の《松堂》、江戸時代末期に京都御苑内にあった旧賀陽宮の総櫓造の門を移築した総門、白隠禅画が常設展示されている荘厳堂など見所が満載です。

ご昼食は、いろは丸事件で坂本龍馬が談判した町家を宮崎駿監督のデザインにより舟宿として再生した建物で、鞆の浦名産の鯛や地元産の食材をふんだんに使った「鯛いろは漬け御膳」（予定）をお召し上がりいただけます。

参加費：7,500円 *昼食代（1,450円【予定】）、福禅寺対潮楼（200円【予定】）、太田家住宅（320円【予定】）、神勝寺入館料（1,000円【予定】）を含みます。

申し込み：11月13日（火）午前9時より受付を開始します。

12月7日（金）までに、申込書に参加費を添えて歴史資料館までお申し込みください。

*定員に達し次第受付を締め切ります。（先着順）

*電話でも受付いたしますが、締切日までに必ず御来館頂き、参加費をお支払いください。

*締切日以降の予約のキャンセルは、参加費の一部が返金できない場合があります。

定 員：40名（先着順）

* **会員以外の方も参加できます。（参加費に加えて、会費として一口1,000円をいただきます。）**

どうぞ、お誘い合わせの上、お申し込みください。

お問い合わせ・お申込み：高松市歴史資料館 087-861-4520

..... 切り取り線

平成30年度 讃岐村塾県外研修参加申込書

(フリガナ)	年齢	乗車・降車場所	会員No.
氏名		JR高松駅・市役所	
住所 〒	電話番号（連絡先）		